

令和5年度 第3回 高台中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月2日（金） 15時30分から16時45分まで
- 2 開催場所 高台中学校 第2会議室
- 3 出席委員 齋藤 健二、渡邊 貴子、山崎 えみ子、里中 恵介
- 4 欠席委員 鈴木 章弘、河井 亮子、鈴木 真一
- 5 学 校 犬塚 智春（校長）、松原 通恭（教頭）、高林 厚志（教務、CS担当）、川嶋 弘美（教諭、CS担当）、和久田 鈴香（CSディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 和久田 鈴香（CSディレクター）
- 9 議長の選出
司会の川嶋より、議長の選出について第2回協議会において承認されたとおり、会長を選出する旨の報告があった。
- 10 協議事項
 - （1）学校関係者評価について
 - （2）来年度の学校運営の基本方針
 - （3）学校運営協議会の自己評価
 - （4）夢育やらまいか事業CS加算分
- 11 会議記録
司会の川嶋より、委員総数7人のうち4人の出席があり、過半数に達しているため、議会が成立する旨の報告があった。

（1）学校関係者評価について
議長の指示により、教務主任から別紙資料に基づき学校アンケート結果と分析、考察と改善策について報告があった。それを受け意見を求めたところ、委員からは以下の発言があった。
 - ・学校アンケートの集計結果が分かりづらい。設問ごとに1学期と2学期の集計結果を並べてレイアウトするなど、ひと目見て比べやすい工夫をしてほしい。（山崎委員）
 - ・現在、保護者に対する情報発信はどのように行われているのか。LINEの活用は考えないのか。自分の子どもが写っているなど、学校の様子などがもっと分かれば、保護者の満足度にも繋がっていくのではないかと。（里中委員）

- 学校ホームページ内にあるブログでの発信がメインとなっており、学年だよりや学校だよりなど紙面での発信もある。(教務主任)
- 学校だよりなど紙面のお便りについては、電子媒体である「さくら連絡網」という非常時の連絡網を使って、その都度、紙面配布と同時に配信もさせていただいている。さくら連絡網の保護者登録率はほぼ100%近い状況である。(教頭)
- 紙面のお便りの配布と同時にさくら連絡網でも発信するという形をとっているため、保護者には紙媒体と電子媒体両方で届くことになる。配布した紙媒体のお便りなどを生徒が保護者に出しそびれても、電子媒体のお便りで確認できるという利点もある。(校長)
- ・学校だより、学年だより、学級だよりなどお便りはどのくらいあるのか。(山崎委員)
 - 学年だよりと学級だよりについては、各学年主任や各学級担任に任せている。学校として出すのは学校だよりや進路だよりがある。発行頻度については時期や行事の有無、様々な状況に応じて異なる。(校長)
- ・学校からの情報発信について、危険性はないのか。(齋藤会長)
 - 発信する情報の内容によるのではないかと。個人情報に関わることであれば確かに危険性も感じられるが学校が精査して発信するものであれば大丈夫だと思っている。(里中委員)
 - 毎年、年度当初に写真等の掲載についての可否を保護者に確認している。さらに第三者による悪用を考え、生徒がアップに写るものは避けるなど個人を特定できるものは掲載しないよう配慮した写真選びを行い、ブログに掲載している写真も画像の保存ができないようになっている。(校長)
- ・ブログに掲載している写真には掲載NGの生徒は写っていないということか。時々、さくら連絡網で更新情報を知らせたりはできないのか。でなければ、わざわざブログを見ないのではないかと。(山崎委員)
 - 作成者および複数名で最終確認した上で発出している。さくら連絡網は「非常時の連絡網」という性質も持っている。皆さんに見ていただくためにも使いたいという思いはあるが、たくさん発出しすぎることによって本当に緊急性の高い情報が軽く受け取られて見てもらえないという恐れがあり悩んでいる。(教頭)
 - 頻度に関しては例えば月に一度とするなど考えればいいと思う。掲載の可否については学校がしっかり管理するしかない。いいツールがあるのだから全く使わないというのはもったいない。(里中委員)

議長より、前回の協議会で意見があった「良い行動の情報発信」について、どのような方法があるか意見を求め、委員からは以下の発言があった。

- ・高台中の公式LINEアカウントを作るのはどうか。ブログの情報も知らせることができる。学年ごとにアカウントを取ればいい。月200通は無料なので、月に1度は無料で発信できる。(里中委員)
- ・公式LINEアカウントはいろんな県の学校やPTAが持っている。公式LINEアカウントの友だち登録200人まで無料。(山崎委員)
 - 情報発信はこれからの課題であると思っている。いいアイデアをいただいた。(校長)

議長の指示により、いじめの現状について校長と教務主任から報告があり、委員からは以下の発言があった。

- ・学校アンケート結果の数値について、設問1「大人になるための学校であることを意識して

いる」については、その時の気分左右されることもあるため誤差の範囲とも考えられるが、設問 27「いじめや暴力がなく、安心して生活できる学校であると思う」については 0.1%でも上がったら、その分だけいじめの事実があるということであり、人数などで表すべきではないか。%の数値の上下で評価することには違和感を覚える。(山崎委員)

→学校アンケートとは別に、2か月に1度ほど、生徒に対して生活面やいじめなど悩んでいることを記名式にてアンケート調査しており、現状把握はしっかりしている。調査に基づき個別事案には対応している。(教務主任)

→生徒たちもいじめについては意欲的に動いてくれており、来週2月9日(金)、本校全クラスで「いじめ対策フォーラム」という生徒主体の活動を行うことになっている。それを受けて、その翌週には前出のアンケート調査を実施する予定である。当校では2年前に生徒会が全校生徒の意見を取りまとめて提案・実施された校則改定をきっかけとして生徒主体で活動を行う流れができており、今回のいじめ対策フォーラムもその一つである。(校長)

・先生方が生徒側に(校則改定などの事案を)投げかけ、生徒主体で動いていくという形が素晴らしい。(渡邊委員)

・2年前の校則改定によって良かったこと、悪かったことはあったのか。(山崎委員)

→以前は校則により色が統一されていたが、“色ではなく機能面を重視してほしい”という生徒たちからの声によって校則改定となり、色はカラフルになった。しかし、それによる弊害は感じていない。ただ、校則改定当時の生徒たちのほうがより意識していたように思う。校則改定後に入学した生徒たちとは空気感(温度差)の違いはあるとは思いますが現在問題は無い。(校長)

→校則の乱れについては、生徒会が主となって全校生徒に見直す機会を設けることで、改めて校則改定の本来の趣旨を再認識し、乱れを修正している。(CS担当職員)

(2) 来年度の学校運営の基本方針

議長の指示により、来年度の学校運営について校長から報告があり委員からは以下の発言があった。

・「大人になるための学校」として良い学校にしていこうという気概を感じた。(里中委員)
議長の指示より、青少年支援体験活動事業について教頭から報告があり、齋藤会長からこの件について補足があった。

続いて、議長より、①職業体験等による不登校生徒へのサポート、②子どもは地域で育てる、③よい行動の紹介を今後CSが関わる三本の柱として進めていきたいとの提案があり、全員異議なくこれを承認した。さらに意見を求めたところ委員からは以下の発言があった。

・一年間のCSの活動を通して、先生方がどう感じたか知りたい。CSに求める何か具体的なものがあれば知りたい。(渡邊委員)

→教員が現在行っている部活後の下校の見守りなどをお願いできれば、教員の負担減に繋がる。当校は学区が広いため自転車通学の生徒もおり、夜間は特に心配である。(校長)

→授業の支援については事前に打ち合わせが必要となるため、教員に更なる負担を与える恐れもあるが、支援が必要なものがある場合はCS利用を視野に入れて考える。(川嶋)

今後の協議会においても引き続き必要に応じて意見を求めることとした。

(3) 学校運営協議会の自己評価

議長の指示により、教頭から自己評価について説明があり、教育総務課より補足があった。

(4) 夢育やらまいか事業CS加算分

教頭より夢育やらまいか事業CS加算分について、第1回目協議会で議決された通り使用した旨、報告があった。

12 連絡事項

教頭より卒業証書授与式の案内があった。

来年度の予定

第1回 5月21日(火) 15時30分から16時30分まで

第2回 10月15日(火)または16日(水) 15時30分から16時30分まで

第3回 2月 7日(金) 15時30分から16時30分まで